

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 指定管理者の推移

導入年度	平成21年度				委託料総額 (単位:円)	
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
株式会社 桔梗屋		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	151,483,000
株式会社 桔梗屋		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	155,796,000
株式会社 桔梗屋		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	145,956,116

2 施設の概要

所在地	南都留郡忍野村忍草3098-1
設置年月日	平成13年4月25日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士湧水の里水族館設置及び管理条例
設置目的	県民に魚とのふれあいの場を提供することにより、自然保護に対する理解を深め、併せて内水面漁業の振興に資する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)水産動植物の飼養栽培及び展示に関する業務 (4)水産動植物に関する講習会及び催しの実施に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 4,000 m ² ○建築面積 1027.02 m ² ○建物延面積 1,474.41 m ² ○建物の構造 ・鉄筋コンクリート造(地下1階、地上2階建て、機械棟1棟) ○施設の内容 ・1階:展示フロア(二重回遊水槽等) 562.29 m ² ・2階:学習フロア(シアターホール等) 736.62 m ² 事務室、機械室、倉庫、東屋等 457.05 m ²
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	75,400,844	73,569,253	77,584,714	80,509,139	87,553,161	
支出合計	75,381,176	72,747,017	75,751,204	79,298,830	85,157,427	
収支差額	19,668	822,236	1,833,510	1,210,309	2,395,734	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	143,687人	138,582人	137,200人	111,036人	126,643人	入館者数、事業参加者数の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

令和3年度の入館者数は、126,643人で、目標値とした146,000人には19,357人届かなかった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が顕著だった令和2年度と比較すると15,607人増加した。一番の繁忙期である8月12日から9月12日まで感染拡大防止の為に臨時休館した事を踏まえると、コロナ禍の中で着実に入館者数が戻ってきていると考えられる。

令和3年度は開館20周年を迎え、様々な20周年記念イベントの開催やオリジナルグッズの作製、年間パスポートのデザイン変更などを行った。また、20周年記念展示として水族館の歴史を振り返る特別展の開催や、県内の水産業に焦点を当てた新常設展示「おいしい水族館」を展示開始した。

その他にも既存展示のリニューアルを複数個所で行うなど館内の展示を一新した結果、アンケートの満足とどちらかといえば満足合わせて99.0%の高い評価を得ることが出来た。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月12日から9月12日までの期間休館した。夏休みの時期と重なり、利用者数の目標達成の面では痛手となったが、20周年イベントをはじめとしたイベントの実施やPRにより、徐々に回復するに至った。引き続き展示内容や企画事業を工夫するとともに、効果的なPR方法を検討すること。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底すること。

設備面において、経年劣化による機器の故障などによる修繕が今後も必要になると考えられるが、修繕については県と協議を行い、優先順位を決めて計画的に実施すること。

利用者満足度については、引き続き展示やイベントの内容を工夫していくことで高い満足度を維持すること。

定期評価については、「工作教室等体験学習の参加者」「水産動植物に関する体験学習の参加者」「学校団体の施設利用数」を評価指標として評価を行った。体験学習参加に係る2項目については、新型コロナウイルス感染症の影響から目標を下回る結果となったが、施設の利用促進のため、実施内容の魅力が伝わるようホームページやSNS等でさらに情報発信を行っていくこと。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

施設所管課からの指導通り新型コロナウイルスへの感染対策を引き続き行い、来館者が安心して利用出来る環境を提供している。

また、コロナ禍においても入館者数増加に向けて実施した展示のリニューアルなどはマスコミにも取り上げられ、番組や記事を見て来館したという声も一定数聞かれたため、水族館のPR効果はあったと考えられる。

経年劣化による施設・設備の故障が多く見られるため、引き続き早期に発見して県と協議の上来館者の利便性・満足度の向上に努めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	入館者数	101,999	101,034	97,771	111,036	126,643
	事業参加者数	41,688	37,548	39,429		
	利用者数合計	143,687	138,582	137,200	111,036	126,643
	目標値	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000
	実績/目標割合	98.4%	94.9%	94.0%	76.1%	86.7%
	目標値の設定方法	H26～:平成24年度実績の年度ごとに1.2%増(平成26年度からの指定管理者への応募時の目標値)ただし、前年の実績が目標値を下回った場合は、前年の目標値を継続。				
利用率	稼働率等(利用率)	454/日	439/日	432/日	404/日	442/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	入館者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県 冷却水ポンプ取替工事	748,000
県 ブローアーポンプ取替工事 外2件	1,006,500
管 1階フロア修繕	154,000
管 湧清水部品交換	135,850
管 非常用自家発電機部品交換 外2件	23,540

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
4	随意契約	売上額の30%	316,902	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和3年4月～令和4年3月(令和3年8月12日～9月12日臨時休館) 実施方法: 入館者へのアンケート 回答数: 498人 備考: 令和3年8月12日～9月12日までは臨時休館の為未実施			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①開館日、開園時間	87.5%	12.1%	0.2%	0.2%
②入館料	82.6%	14.4%	2.2%	0.8%
③館内の清潔さ	80.1%	17.7%	2.0%	0.2%
④設備などの充実度	71.7%	25.3%	2.4%	0.6%
⑤展示魚の数や状態	75.7%	17.9%	5.6%	0.8%
⑥シアターの満足度	70.0%	27.2%	2.8%	
⑦スタッフの態度	78.3%	19.6%	1.7%	0.4%
⑧イベント満足度	67.5%	27.1%	4.1%	1.3%
施設全般の満足度	84.7%	14.3%	0.8%	0.2%
利用者の主な意見	【設備などの充実度】 ・故障中の機器を直してほしい。 【展示魚の数や状態】 ・展示数をもっと増やしてほしい。 【シアターの満足度】 ・映像を更新してほしい。 ・画質が悪い。			
利用者の意見への対応	【設備などの充実度】 ・定期的な点検や、異常が見られた所は随時県の担当部署と協議をしつつ修繕を行っている。ただし、機器自体が老朽化しており、交換部品の調達に時間が掛かったり、調達コストの上昇が問題となっているので、今後の運用方法について検討していく必要がある。 【展示魚の数や状態】 ・館内の巡回や飼育作業時の確認を強化し、状態の良い生物を展示できるように努める。 ・展示種類数及び展示数は増加させており、今後も新たな展示を作製していく計画を進めている。 【シアターの満足度】 ・現在新たな映像の作製を進めており、既存の映像と合わせてバリエーションを増やすように努めている。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>清掃業務、設備保守点検を計画どおりに実施した。</p> <p>災害対応、利用者の安全確保のため、マニュアルを見直しを行い、事故発生時の対応も再設定・再確認した。</p> <p>保安・警備業務は隣接する「森の学習館」(忍野村の施設)と問題なく共同実施した。</p> <p>経年劣化により来館者に直接影響が出る場所や、隣接施設との間に影響のある設備破損などが発生してきているが、速やかに修繕もしくは対処をして利用者の利便性維持に努めた。</p>	<p>法定点検業務について、事業計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>防災マニュアルを定期的に見直しており、事故発生時の対応を再確認し、利用者の安全確保に努めている。今後も周辺施設と連携して訓練等を実施し、防災マニュアル見直しの際に反映していくこと。</p> <p>施設建設から年数は経過しているため、経年劣化している箇所も多いが、適宜修繕を実施した。来館者が安全に過ごせるよう県と協議し、速やかに対処すること。</p>
運営業務	<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により業務計画書の実施事業を一部変更したが、変更後は適正に業務を執行した。</p> <p>また、実施事業は概ね好評であった。</p> <p>今後も、引き続き感染症対策を万全に行いつつ来館者の満足度の向上を目指して取り組んでいく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により休館し、実施予定のイベントが一部中止となったが、再開後は、業務計画に則り、適正に業務を執行できた。</p> <p>工作体験等は一度に参加できる人数を制限しているが、参加者同士の間隔の確保、手指の消毒等、感染症対策を適切に実施し、参加者の満足度も高かった。</p> <p>引き続き利用者の安全に配慮しつつ、満足度向上を図る取組を行っていくこと。</p>
利用状況	<p>来館者数は目標の146,000人に対し86.7%の126,643人で、目標利用者数に占める実績の割合は、令和2年度の76.1%に比べて10.6%増加した。8月12日～9月12日の最盛期を感染症拡大防止のために臨時休館となったが、その反動か秋以降の学校団体や個人での来館者数が増加したことで昨年度よりも増加したと考えられる。</p> <p>引き続き、感染症対策をしっかりと行いつつ来館者の年齢層や客層に合わせた展示や、既存水槽の内容リニューアルを増やすなどして来館者の増加に繋げていく。</p>	<p>休館の期間と最盛期とが重なったため、総来館者数は抑制されたと考えられるが、再開後は課外学習等を控えていた学校が実施に動き出したこともあり、団体、個人ともに来館者が増加した。</p> <p>また、企画展開始の際の広報による新聞各紙への記事掲載や、情報番組で取り上げられたことなどが県内外の来館者増加に繋がった。</p>
収支状況	<p>令和3年度の利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為臨時休館を行ったが、秋以降の感染以降は人足も戻ってきたこともあり、前年度比で約108.5%となった。</p> <p>昨年度に引き続き新展示の作製や展示リニューアルなどの設備投資を行ったので消耗品費は前年度とほぼ同等になった。</p> <p>また、老朽化した除雪機の入替えに伴う工具器具の購入費が今年度は発生しており、今後の施設のクオリティー向上や作業の効率化を図る。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による休館期間があったものの、利用料金収入は前年度に比べ増加した。今後も、魅力のある展示の企画やその広報の実施により施設の利用促進を図ること。</p> <p>また、支出については、展示のリニューアルや除雪機の購入があったが、展示のリニューアルについては施設の利用促進及び満足度の向上の面で、除雪機購入については利用者の安全確保の面で必要なものである。</p> <p>いずれも、支出に際しては費用対効果について検討を行い、支出の削減に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>令和3年度は、昨年度と同様にどの催事も新型コロナウイルス感染症対策により実施されなかった為、移動水族館などの自主事業は行わなかった。 今後もどのような形で開催されるのか見通せない為、感染症対策をしっかりと行いつつ、参加の可否を見極めていく。 また、水族館が所属している公益社団法人日本動物園水族館協会が主催する研究会をホスト園館として開催し、水族生物に関する研究発表などを行った。</p>	<p>昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動水族館等の自主事業は実施しなかったが、感染症対策を徹底し、事業実施できる体制を整えておくこと。 また、自主事業を行う際には、民間企業等の類似事業のモニタリングを行い、独自性のある企画に努めること。 アンケート結果を活用し、質の高いサービスの提供に努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>総合アンケートの結果は、満足、どちらかといえば満足が99.0%であった。コロナ禍はまだ解決の目途が見通せない状況なので、いただいた意見についてはできるだけ速やかに業務運営に反映し、利用者により安心して満足してもらえるような施設運営に努めている。</p>	<p>昨年度に引き続き、今年度も新型コロナ感染症の影響はあったものの、アンケートの満足度は、満足、どちらかといえば満足の回答を合わせて99.0%と高い数値を維持した。 引き続きアンケート結果を参考に、施設運営の改善に努めること。</p>

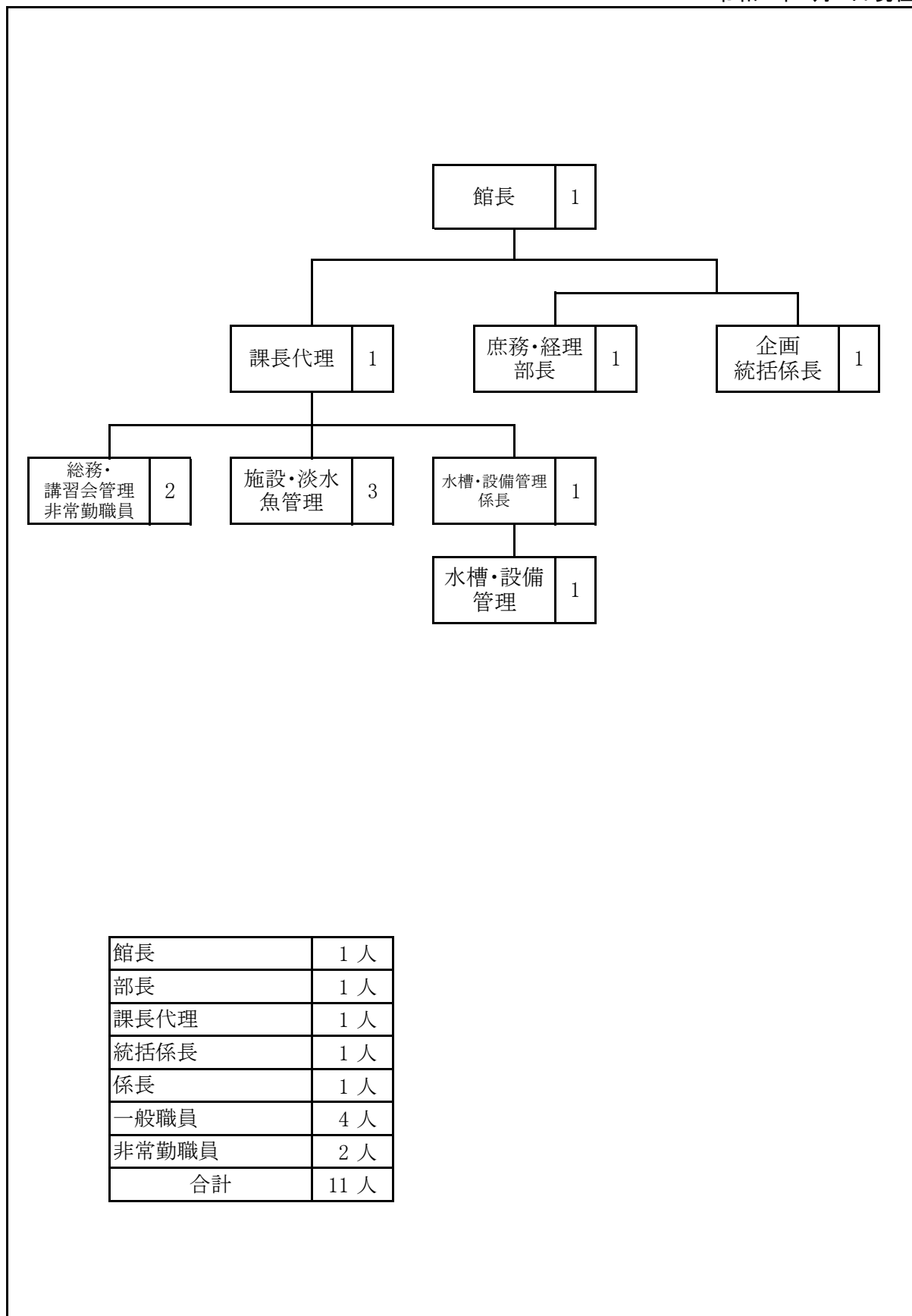
8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>体験学習参加者の増加(工作教室等)</p>	<p>施設の利用促進を図るため、工作教室等の体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を2,127人に設定した。 体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報したが、年間参加者数は1,777人と実績が目標を下回る結果となった。</p>	<p>実績が目標を下回る結果となった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用者の減少が考えられることから、今後の評価指標の設定については、感染症の状況を踏まえて検討するとともに、ホームページ、SNSを活用した広報を行い、体験学習の実施について周知すること。</p>
<p>水産動植物に関する体験学習参加者の増加(給餌体験及び職員解説)</p>	<p>施設の利用促進および内水面漁業の周知・啓発を図るため、水産動植物に関する体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を776人に設定した。 体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報したが、年間参加者数は660人と実績が目標を下回る結果となった。</p>	<p>実績が目標を下回る結果となった要因として、上記の工作体験等の体験学習と同様、新型コロナウイルス感染の影響による施設利用者の減少が考えられるため、評価指標の設定については、感染症の状況を踏まえて検討する必要がある。 アンケートでも参加者から満足度の高さがうかがえる感想が寄せられており、内水面の水産動植物の生態を知る貴重な機会となっていることから、ホームページ、SNSの活用等情報発信の工夫により、体験学習について周知すること。</p>
<p>学校団体の施設利用数の増加</p>	<p>施設の利用促進及び教育機関との連携を図るため、学校団体の施設利用数を評価指標とし、目標値を40校に設定した。 施設ホームページで広報し年間参加者数は52校と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後もホームページを利用して広報を行うとともに、学校向けのプログラムの内容についてアクセスしやすく整備することで、さらに周知を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



館長	1 人
部長	1 人
課長代理	1 人
統括係長	1 人
係長	1 人
一般職員	4 人
非常勤職員	2 人
合計	11 人